

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IoT演習		情報システム学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	穂垣 葉子
授業の概要				
Microsoft Excel2019を利用して、マクロ機能(VBA)の基本操作を習得する。 また、操作だけでなくプログラム設計の基本も併せて学ぶことで、Excel VBAを使うための技術を習得する。				
授業終了時の到達目標				
EXCEL マクロ(VBA)のを使用して、作業の自動化、専門化、効率化、高機能化できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	表計算ソフトとマクロ/キー記録マクロ	Excelの操作をマクロとして記憶しておくことで、そのプログラムを作成する		
3~4	マクロの正体と編集エラー・デバッグ	マクロを編集・VBAの入力の基本操作・デバッグ		
5~6	計算と変数	プロシーチャーの処理内容。変数。除算の商		
7~8	判断	定数・判定・IF分の入れ子		
9~10	回数による繰り返し	For~Next文による繰り返し		
11~12	関数とその使い方	Excel関数・VBA関数の利用・ユーザ定義関数の使い方		
13~14	条件による繰り返し	While~Wend文による繰り返し・最大公約数、検索マクロ		
15~16	Subプロシーチャー	プロシーチャーとモジュール		
17~18	イメージの利用	ローカル変数とグローバル変数・イベントドリブン方式		
19~20	コントロールの利用	イベントとコントロール・イベントとイベントプロシーチャー		
21~22	ユーザーフォーム	ユーザーフォームとそのコントロール		
23~24	数値と文字列	数値と文字列。リストボックス		
25~26	日付入力	日付の取り扱い		
27~28	自動実行マクロ	特殊なイベントプロシーチャー		
29~30	複数シートの使い方	アクティブシートの切り替え		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ステップ30 Excel VBAワークブック		期末試験 出席率 授業態度	60% 20% 20%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク実習Ⅲ		情報システム学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	新川 弘哲
授業の概要				
さまざまな用途の小規模ネットワークの計画および実装に必要なスキルを習得します。IPv4とIPv6 アドレスを用いて、ルータおよびスイッチの設定とトラブルシューティングを行う。ルーティングプロトコル、仮想LAN、および VLAN間ルーティングに関する一般的な問題を解決する力を養います。。				
授業終了時の到達目標				
ルータおよびスイッチの設定とルーティングプロトコル、仮想LAN、および VLAN間ルーティングに関するトラブルシューティング能力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
今回の授業内容を踏まえてWeb教材を用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	1. 1章_デバイスの基本設定	・デバイスの基本設定 ネットワーク管理者は、ネットワーク内のデバイスを詳細に制御する必要があります。ネットワークが希望する処理を行うように、スイッチとルータの基本設定を身につけます。		
3~4	2. 2章_スイッチングの概念	・スイッチングの概念 最新の技術を持つネットワークでさえ、最終的には独自の問題を抱えています。ネットワークのトラブルシューティングを行うための、スイッチの仕組みを学習します。		
5~6	3. 3章_VLAN(1)	・VLAN VLAN および VLAN トランクの設定、管理、およびトラブルシューティングの方法について説明します。また、VLAN とトランクに関連するセキュリティ上の考慮事項と戦略、および VLAN 設計のベスト プラクティスについて学ぶ。		
7~8	4. 3章_VLAN(2)	・VLAN VLANアーキテクチャはネットワークのメンテナンスを合理化し、パフォーマンスを高めませんが、悪用への扉も開きます。これらの攻撃の背後にある一般的な手法とそれらを軽減するための主要なアプローチを学びます。		
9~10	5. VLAN間ルーティング(1)	・VLAN間ルーティング VLAN間ルーティングの実装に使用する方法に重点を置いて学んでいきます。これにはルータを使用する場合と階層 3 スイッチを使用する場合の両方の設定が含まれます。		
11~12	6. VLAN間ルーティング(2)	・VLAN間ルーティング VLAN間ルーティングおよび標準トラブルシューティング技術を実装するときに生じる問題について学習しましょう。		
13~14	7. 5章_STPの概念、6章_EtherChannel	・STPの概念、EtherChannel レイヤ 2 ループを作成および伝播するには、いくつかの一般的な方法があります。スパンニングツリープロトコル(STP)は、ネットワーク内のレイヤ 2 ループを排除するように特別に設計されています。ループの原因と、さまざまなタイプのスパンニングツリープロトコルの概念を説明します。		
15~16	8. 7章_DHCPv4、8章SLAACとDHCPv6	・DHCPv4、SLAACとDHCPv6 Cisco IOS ルータを DHCPv4、DHCPv6 サーバとして設定する方法を学習します。次に、Cisco IOS ルータをクライアントとして設定する方法を学習します。		
17~18	9. 9章_FHRPの概念、10章_LANセキュリティの概念	・FHRPの概念、LANセキュリティの概念 FHRPが何をするのか、そして利用可能なFHRPのすべてのタイプについて説明します。これらのタイプの 1 つは、HSRP(ホットスタンバイルータプロトコル)と呼ばれるシスコ独自のFHRPです。HSRP がどのように機能するか学習してから、HSRP の設定と確認手法について学びます。レイヤ 2 のセキュリティ脅威について説明します。		

19~20	10. 11章_スイッチのセキュリティ設定	・スイッチのセキュリティ スイッチセキュリティの管理と実装について学ぶ。		
21~22	11. 12章_WLANの概念、13章_WLANの設定	・WLANの概念、WLANの設定 無線 LAN とは何か、実行できること、保護方法を理解するために必要な基礎知識を学びます。特別なエンドデバイスと中間装置、さらに無線プロトコルについて説明します。		
23~24	12. ルーティングの概念(1)	・ルーティングの概念 ルータ、ネットワークでのルータの役割、ルータの主なハードウェアおよびソフトウェアコンポーネント、およびルーティングプロセスについて学びます。		
25~26	13. ルーティングの概念(2)	・ルーティングの概念 ルータにアクセスする方法、ルータの基本設定を設定する方法、および、設定を確認する方法を実習を通じて学びます。		
27~28	14. 15章_IPスタティックルーティング(1)	・IPスタティックルーティング サンプルトポジを使用して、IPv4および IPv6のスタティックルートを設定し、トラブルシューティング技術を学びます。その過程で、複数の重要な IOS コマンドを駆使して、ルーティングの設定を行います。		
29~30	15. 15章_IPスタティックルーティング(2)	・IPスタティックルーティング クラスフル ルーティングと、幅広く導入されているクラスレス ルーティング方法について学習します。クラスレスドメイン間ルーティング (CIDR) および可変長サブネット マスク (VLSM) の方法も取り上げます。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・Web教材: Switching, Routing, and Wireless Essentials		ノート提出 課題 オンラインテスト	40.0% 30.0% 30.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サーバー構築演習		情報システム学科/3年	2023/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	平松 謙治
授業の概要				
CentOSを利用してLinuxサーバーの構築やGUI, CUIでのオペレーションを学習します。				
授業終了時の到達目標				
一人でLinuxサーバーを構築し、サービスを提供できるところまでできるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有り	【実務経験】入江 謙治: SEとして35年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	Part1 サーバ構築の準備	<ul style="list-style-type: none"> 必要なハードウェア Ubuntu Serverを選ぶ理由 ネットワーク環境 		
3~4	Part2 Ubuntu Serverのインストール	<ul style="list-style-type: none"> インストールメディアを作成する Ubuntu Serverのインストール 		
5~6	Part3 Ubuntu Serverの基本操作と初期設定(1)	<ul style="list-style-type: none"> ログインやシャットダウン、管理者権限とユーザー管理 シェルの便利な機能と基本コマンド 		
7~8	Part3 Ubuntu Serverの基本操作と初期設定(2)	<ul style="list-style-type: none"> テキストエディタの使い方 ソフトウェアの導入と削除 		
9~10	Part4 リモートアクセス環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> SSHとターミナルマルチプレクサ、ファイルの送受信 ホストベース認証 		
11~12	Part5 ファイルサーバーの構築	<ul style="list-style-type: none"> Sambaの導入と起動 クライアントからSambaへアクセスする。 		
13~14	Part6 Apache HTTP Serverの導入と起動	<ul style="list-style-type: none"> Apache HTTP Serverの導入と起動 Webアプリケーションを動かす。 一部のユーザにのみコンテンツを公開する。 		
15~16	Part7 インターネットに公開する	<ul style="list-style-type: none"> ブロードバンドルータの設定 ドメイン付きホスト名を取得する。WebサーバをHTTPSで公開する。 		
17~18	Part8 データベースサーバ	<ul style="list-style-type: none"> MySQLの導入 起動とアクセス・データベースとテーブルの作成 データベースの基本操作・権限を設定する。 		
19~20	Part9 ブログサイトの構築	<ul style="list-style-type: none"> WordPressの導入と起動 通知メールの配信設定 		
21~22	Part10 FTPサーバーの構築	<ul style="list-style-type: none"> ProFTPDの導入とFTPでの起動 FTPサーバーをインターネットに公開する。 		
23~24	Part11 オンラインストレージの構築	<ul style="list-style-type: none"> Nextcloudの導入と起動 Nextcloudの初期設定 		
25~26	Part12 バージョン管理システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> GitBucketの導入と起動 GitBucketの基本操作 		

回	テーマ	内容		
27~28	Part13 メールサーバの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・メールサーバーの導入と起動 ・メールクライアントの設定 		
29~30	Part15 セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイアウォールの導入 ・プロキシサーバーの導入・バックアップの取得・ウイルス対策ソフトの導入 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Ubuntuサーバー徹底構築		成果物 出席率	80.0% 20.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、 各回の内容に対応して いるテキスト、配布資 料の箇所を見ておくこ と。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報セキュリティ		情報システム学科/3年	2023/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	若井 義憲
授業の概要				
<p>情報通信機器やWebアプリケーションに対する攻撃手法の特徴を理解し、必要となるセキュリティ対策を学びます。</p> <p>また、基本情報技術者試験のセキュリティ関連問題、セキュリティマネジメント試験の問題に答えられる知識・能力を身につけます。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの基本的な考え方や仕組み理解することができる。 ・代表的な攻撃手法の特徴と、攻撃に対する対策を挙げることができる。 ・ネットワークを安全に利用するための構成を挙げることができる。 ・基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験の問題を解くことができる。 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	総合電機メーカーに20年以上勤務し、業務用サーバーの制御プログラム設計・開発等に従事。開発プロジェクトリーダー経験あり。独立ソフト会社で販売管理ソフト開発、保守を経験。			
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	情報セキュリティとは	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの定義 ・情報セキュリティの管理対象(1章) 		
2	ネットワークと機器の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・主要なプロトコルとネットワーク機器 		
3	脆弱性と攻撃(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対する攻撃(マルウェア(2章)、フィッシング(3章)、標的型攻撃(4章)、Webサイト利用者への攻撃(6章)) 		
4	脆弱性と攻撃(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバに対する攻撃(Webサイトへの攻撃(5章)) 		
5	改ざん・なりすましを防ぐ(Integrity)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハッシュ ・デジタル署名(11章) ・認証(利用者認証(9章)、メッセージ認証(10章)) 		
6	秘密を守る(Confidentiality)	<ul style="list-style-type: none"> ・暗号と鍵管理 ・通信路暗号化 ・共通鍵暗号と公開鍵暗号(7章、8章) 		
7	無線LAN/携帯端末セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・無線LANセキュリティ(13章) ・携帯端末セキュリティ(14章) 		
8	組織と関連法規	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ関連法規(15章) 		
9	科目A・SG答練	基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験の科目A(知識を問う問題)の対策を行います。		
10	科目A・SG答練	基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験の科目A(知識を問う問題)の対策を行います。		
11	脆弱性と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱性を突いた攻撃に対する対策 ・ファイアウォールの設定 		
12	権限	<ul style="list-style-type: none"> ・権限とは何か ・権限の分離(最小権限の原則) 		
13	科目B・SG答練	基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験の科目B(能力を問う問題)の対策を行います。		

14	科目B・SG答練	基本情報技術者試験、セキュリティマネジメント試験の科目B（能力を問う問題）の対策を行います。		
15	期末試験	期末試験を実施します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なるほど！情報セキュリティ（インフォテックサーブ）		課題 期末試験	60.0% 40.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、箇所を見しておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プログラミング演習		情報システム学科/3年	2023/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	若井 義憲
授業の概要				
実際に動作するホテルの予約システムを作りながら、PHPの基本文法からデータベースと連携したWebアプリの制作方法を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
C: PHPを使って簡単な Webアプリケーションを作ることができる。 B: C+ データベースから抽出したデータを表示するプログラムを作成できる。 A: B+ PHPを使ってデータベースの更新を伴う Webアプリケーションを作ることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		総合電機メーカーに20年以上勤務し、業務用サーバーの制御プログラム設計・開発等に従事。開発プロジェクトリーダー経験あり。独立ソフト会社で販売管理ソフト開発、保守を経験。		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	開発環境の準備	・ PHPの開発環境の準備を行います。 【テキスト】1章 Webアプリケーションの概要 3章 PHPの初歩 例題9		
2	変数、制御構造(条件判定文)	・ 変数、制御構造(条件判定文) 【テキスト】3章 PHPの初歩 例題9, 10, 11 実習01, 02		
3	制御構造(繰り返し文)	・ 制御構造(繰り返し文) 【テキスト】3章 PHPの初歩 例題12, 13, 14, 15 実習03		
4	配列・連想配列	・ 配列・連想配列 【テキスト】3章 PHPの初歩 例題16, 17, 18 実習04, 05		
5-6	データベースの利用	・ 主な SQL文の使い方を復習しながら、本システム用のデータベースをセットアップします 【テキスト】4章 データベースの利用 例題19, 例題20, 例題21, 例題22, 例題23, 24, 25, 26, 27		
7-9	モックアップの作成	・ 静的なHTML/CSSページを使ってひな形を作成します。 【テキスト】2章 HTML5によるWebページ作成 例題2, 3, 4, 5, 6, 7, 8		
10	トップページ	・ トップページを改造してデータベースのデータをページに出力します 【テキスト】5章 オンライン予約システムの実装 ～トップページから部屋詳細表示～ 例題28: トップページ		
11	部屋一覧ページ(すべて)	・ 部屋一覧ページを改造してデータベースのデータを出力します 【テキスト】5章 オンライン予約システムの実装 ～トップページから部屋詳細表示～ 例題29: 部屋一覧ページ(すべて)		
12-13	部屋一覧ページ(タイプ別)	・ タイプ別の一覧を表示するようにパラメータの受け取り方を学びます 【テキスト】5章 オンライン予約システムの実装 ～トップページから部屋詳細表示～ 例題30: 部屋一覧ページ(タイプ別) 実習6 フォーム送信データの取得演習		
14	部屋詳細ページ	・ 複数のテーブルを結合して取得したデータを出力します 【テキスト】5章 オンライン予約システムの実装 ～トップページから部屋詳細表示～ 例題31: 部屋詳細ページ		

15	処理コードの共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のページで共通のプログラムを切り出して管理しやすくします 【テキスト】5章 オンライン予約システムの実装 ～トップページから部屋詳細表示～ 例題32、33：処理コードの共有化、データベース設定の共有化 実習7 		
16	空室一覧ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・指定日の空室検索機能を追加します。 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 ～予約機能～ 例題35：空室一覧ページ 実習9、10、11 		
17	セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・PHPでセッションを扱う方法を学びます。 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 例題36：予約詳細入力画面 		
18	セッションの実装	<ul style="list-style-type: none"> ・セッションを使って、予約詳細入力画面に一部の項目が自動的にセットされるようにします。 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 ～予約機能～ 例題36：予約詳細入力画面 実習12 		
19	入力チェックと画面遷移の分岐	<ul style="list-style-type: none"> ・入力ミスがあるときの処理方法を学びます。 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 ～予約機能～ 例題37：予約詳細入力画面 		
20	予約詳細画面に入力エラー時の処理を追加する	<ul style="list-style-type: none"> ・予約確認画面にエラー箇所を表示するようにします 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 ～予約機能～ 例題38：予約確認画面 実習13、14 		
21	予約処理	<ul style="list-style-type: none"> ・予約データの登録機能と、予約完了画面を実装します 【テキスト】6章 オンライン予約システムの実装 ～予約機能～ 例題39：予約完了画面 		
22	予約管理画面	<ul style="list-style-type: none"> ・予約管理機能を実装します 【テキスト】7章 オンライン予約システムの実装 ～予約管理機能～ 例題40：予約管理画面：一覧 実習15 		
23	指定日付の予約情報一覧表示	<ul style="list-style-type: none"> ・指定日の予約一覧表示機能を実装します 【テキスト】7章 オンライン予約システムの実装 ～予約管理機能～ 例題41：予約管理画面：指定日付 実習16 		
24	予約削除機能（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードデリートによる予約削除機能を実装します。 【テキスト】7章 オンライン予約システムの実装 ～予約管理機能～ 例題42：削除機能（ハードデリート版） 		
25	予約削除機能（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトデリートによる予約削除機能を実装します。 【テキスト】なし 削除機能（ソフトデリート版） 		
26	ログイン・ログアウト機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ログイン・ログアウト機能を実装します 【テキスト】7章 オンライン予約システムの実装 ～予約管理機能～ 例題43：ログイン機能・ログアウト機能 		
27-28	PHPにおけるクラス	<ul style="list-style-type: none"> PHPでクラスを扱う方法を学びます。 【テキスト】（なし） 		
29-30	課題制作	<ul style="list-style-type: none"> 総仕上げ課題として PHPを使った簡単なシステムを制作します。 		
		評価基準	評価率	その他
30時間アカデミック PHP入門（実教出版）	筆記試験 課題 特別課題		30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理講座Ⅳ		情報システム学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	新川 弘哲
授業の概要				
・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業。午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。				
授業終了時の到達目標				
・基本情報技術者、応用情報技術者の合格。国家試験の学習を通じて、IT用語、コンピュータに仕組みについて理解を深める。				
実務経験有無		実務経験内容		
有り		【実務経験】恵谷 利佳子：プログラマとして1年の勤務経験 これまでの開発実践を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
2	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
3	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
4	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
5	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
6	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
7	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
8	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
9	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
10	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
11	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
12	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
13	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
14	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
15	基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解いていきます。学生が苦手としている計算問題や午後のアルゴリズムの問題にも挑戦します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・応用情報技術者 パーフェクトラーニング過去問題集、基本情報技術者パーフェクトラーニング問題集		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		情報システム学科/3年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	新川 弘哲/若井 義憲

授業の概要

本人、担任、就職スタッフと三者面談を行う。その中で、何をやりたいのかを明確にし、仕事の現実を把握し、今の自分と夢の仕事とのすり合わせを行う。就職活動状況を確認し就職活動戦略を練り、状況に応じて、面接練習や履歴書指導を行う。

授業終了時の到達目標

続けられる、やりがいのある仕事を見つけ企業へ内定する。将来、こうなりたいという夢や目標を実現する。

実務経験有無

実務経験内容

無し

時間外に必要な学修

今回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1	就職活動支援 1	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
2	就職活動支援 2	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
3	就職活動支援 3	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
4	就職活動支援 4	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
5	就職活動支援 5	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
6	就職活動支援 6	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
7	就職活動支援 7	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
8	就職活動支援 8	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
9	就職活動支援 9	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
10	就職活動支援 10	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。
11	就職活動支援 11	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組み、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。

12	就職活動支援 1 2	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組む、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。		
13	就職活動支援 1 3	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組む、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。		
14	就職活動支援 1 4	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組む、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。		
15	就職活動支援 1 5	・学生の志望や適性に合わせたオーダーメイド型の求人紹介と、きめ細かい就職指導で専門分野への就職を目指す。自己実現、卒業後の進路などの目標を設定して計画的に取り組む、社会人として必要な行動力、持続力、情報収集能力などを養う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
専門学校生のための就職内定基本テキスト		報告書 活動	50.0% 50.0%	【事前学習】 具体的に受験したい企業の選定、面接における自分の苦手な部分を洗い出しておいてください。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データ管理 (ACCESS)		情報システム学科/3年	2023/前期	実習
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位 (60時間)	必須	穂垣 葉子
授業の概要				
Microsoft Access2019でデータベースの基本操作を習得する。 テーブル・クエリ・フォーム・レポートの各オブジェクトがどのような関係であるかを考えさせ、テーブルのリレーションシップなどデータベースの根本を学ぶ。 また、操作だけでなくデータベース設計の基本も併せて学ぶことで、データベースを使うための技術を習得する。				
授業終了時の到達目標				
Microsoft Office Specialist Access365& 2019Expertの模擬問題の採点で100%をとる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1~2	動機付け・Access2019の基本操作・データベースの関係	Access2019の基本操作・データベースとは		
3~4	データベースの設計と作成	データベース構造の流れを確認・設計し作成する		
5~6	テーブルによるデータの格納	テーブルの概要を理解し、テーブルとフィールドの検討、作成をする		
7~8	リレーションシップの作成とクエリによるデータの加工	リレーションシップを作成 クエリの概要を理解し、操作する		
9~10	フォームによるデータの入力	フォームの概要を理解し、入力画面の作成と編集、コントロールの作成		
11~12	クエリによるデータの抽出と集計	条件に合致するレコードの抽出と集計		
13~14	レポートによるデータの印刷	レポートの概要を理解し、レポートの作成と印刷		
15~16	データベースの作成と管理 テーブルの作成	新しいデータベースの作成・データベースの保護と管理・エクスポート・テーブルの作成とリレーションシップ		
17~18	クエリの作成	クエリの作成・変更・集計フィールドやグループ化の使用		
19~20	フォームの作成	フォームの作成・コントロールの設定・フォーム書式		
21~22	レポートの作成	レポートの作成・コントロールの設定・書式設定		
23~24	模擬試験	模擬試験第1回・結果の提出		
25~26	模擬試験	模擬試験第2回・結果の提出		
27~28	模擬試験	模擬試験第3回・結果の提出		
29~30	模擬試験	模擬試験復習・結果の提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Microsoft Access 2019基礎 (FOM) Microsoft Access 2019応用 (FOM) MOS攻略問題集 Access 365&2019Expert (FOM)		期末試験 (MOS模擬) 出席率 授業態度	60% 20% 20%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
RPA演習		情報システム学科/3年	2023/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	若井 義憲
授業の概要				
Pythonを利用し様々なライブラリを活用してExcelの作業の自動化を学習します。				
授業終了時の到達目標				
業務においての手作業をRPA化できるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	総合電機メーカーに20年以上勤務し、業務用サーバーの制御プログラム設計・開発等に従事。開発プロジェクトリーダー経験あり。独立ソフト会社で販売管理ソフト開発、保守を経験。			
時間外に必要な学修				
次の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	RPAとは	RPAの概要について説明します。		
2	開発環境の準備	Anaconda, Visual Studio Code, 各種ライブラリのインストール、pipコマンド、condaコマンドについて		
3	データの入力を全自動化	Pythonを使ってExcelにデータを記入したり、コピーアンドペースト、別シートを分けて書き出しを行います。		
4	データの加工を全自動化	データの並べ替え、データのフィルタ、クロス計算表の作成を行います。		
5	資料の加工を全自動化	行、列のサイズ変更、書式設定、ヘッダー、フッターの操作を行います。		
6	資料の印刷設定・送信を自動化	印刷設定の変更、ExcelをPDFに変換、作ったファイルの保存先の指定、メール送信の自動化、Excel表のWordへの書き出し		
7	グラフ作成を全自動化	pythonを用いてグラフ作成、別の資料への貼付けを行います。		
8	外部にあるデータを取ってくる	共有フォルダのデータを利用、データ削除、フォルダの圧縮・解凍 Googleドライブからデータの取得、ウェブサイトからのデータの取得を行います。		
9	AIを使って予測する	ビッグデータを機械学習させて、売上の予測を行います。		
10	Pythonを利用してクラウドサービスとエクセルを連携させる	googletransを利用して、エクセルブックを翻訳するプログラムを作成します。		
11	Webスクレイピングの基本1	Webスクレイピングの概要、HTMLソースの解析について学習します。		
12	Webスクレイピングの基本2	実際にWebサイトから必要なデータを収集します。収集したデータをExcelに書き出します。		
13	Webシステムへのデータエントリーを自動化する1	Seleniumのインストール、Google ChromeのwebDriverのインストール、データエントリーページの解析を行います。		
14	Webシステムへのデータエントリーを自動化する2	実際にデータエントリーページにExcelブックのリストの情報をseleniumを利用して自動的にエントリーしていきます。		
15	実務に役立つPythonアプリの作成	GUIで動作するExcelへデータエントリーできるツールをPythonを利用して作成します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
めんどろな作業が秒速でおわる Excel x Python 自動化の超基本 (宝島社)		出席 課題	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理講座Ⅴ		情報システム学科/3年	2023/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	21回	2単位(42時間)	必須	伊沢 剛
授業の概要				
・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業。午前の午後の過去問題のを中心に午前の問題の場合は、1時間につき25問程度、午後の問題の場合、1時間につき1~2問解いていきます。				
授業終了時の到達目標				
・基本情報技術者、応用情報技術者の合格。国家試験の学習を通じて、IT用語、コンピュータに仕組みについて理解を深める。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する				
回	テーマ	内容		
1	・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業	<p>【学習内容】(詳細)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題のを中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。 		

2	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。
3	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。

4	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。
5	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。

6	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。
7	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <p><情報提示></p> <p>次の内容のいずれかを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <p><フィードバックの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <p><評価・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手な問題を克服する。 <p>【重要用語・アドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。

<p>8</p>	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。 ・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。午後問題は、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>
<p>9</p>	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。 ・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。午後問題は、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>

<p>10</p>	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の可否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>
<p>11</p>	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の可否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>

12	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>
13	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1~2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないように、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の合否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>

14	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないうに、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果からアドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の可否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>		
15～21	<p>・基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の対策授業</p>	<p>【学習内容】（詳細） ・検定の取得状況で、「基本情報グループ」「応用情報グループ」に分かれて対策授業を行います。・午前の問題では「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから1時間に25問程度の問題を解きます。午後の問題は、「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」のジャンルから、1～2問程度の問題を解きます。 <情報提示> 次の内容のいずれかを行います。 ・午前の過去問題を中心に「テクノロジー系」「マネジメント系」「ストラテジ系」のジャンルから、1時間につき25問程度、解きます。・午後の問題では、出題範囲の各ジャンルである「ネットワーク」「情報セキュリティ」「ソフトウェア」「データベース」「プロジェクトマネジメント」「システム戦略」「システム監査」「アルゴリズム」など、苦手意識を持たないように解き方のテクニックを伝授していきます。 <学習活動> ・午前の問題をとき、間違いの解答群の用語の意味も覚えていきます。間違えた問題は、解き直しをして、同じような問題が出題されたされた場合、同じミスをしないうに、問題を振り返ります。午後の問題は、苦手なジャンルをなくすように様々な問題に挑戦します。基本情報の午後問題は、選択式です。解答群を絞り方を身につけます。応用情報技術者試験は記述式です。自分で文章を作成して回答するテクニックを学びます。 <フィードバックの方法> ・学生からの質問に、回答する。・模試試験の結果から学習アドバイスします。 <評価・まとめ> ・授業中に質問があった項目についておさらいする。・模試試験を毎週、実施します。 【到達目標】 ・苦手な問題を克服する。 【重要用語・アドバイス】 ・テクノロジー、マネジメント、ストラテジ、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベース、ソフトウェア、システム監査 ・国家試験の可否は、就職活動に大きく影響してきます。国家試験を取得していれば、IT業界の就職に大変、有利です。自宅の復習もしっかり行ってください。</p>		
<p>教科書・教材</p> <p>・応用情報技術者 パーフェクトラニング過去問題集、基本情報技術者パーフェクトラニング問題集・アイ・テック、TAC ・ウイネット、インフォテックサーブの模試</p>		<p>評価基準</p> <p>出席点 模試試験</p>	<p>評価率</p> <p>20.0% 80.0%</p>	<p>その他</p> <p>【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。</p>

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスプレゼン演習		情報システム学科/3年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	伊沢 剛
授業の概要				
プレゼンテーション資料の効果的な作成手法、見せるためのテクニックを身につける。				
授業終了時の到達目標				
群衆の前で発表し、持ち時間を意識した発表ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する。				
回	テーマ	内容		
1	プレゼンテーションとは	・プレゼンテーションの基礎知識について理解を深めます。		
2	必要な情報を集めてまとめよう	・情報収集の方法について理解を深めます。		
3	必要な情報を集めてまとめよう	・情報収集の方法について理解を深めます。		
4	論理的にストーリーを展開しよう	・ストーリーの作成方法について理解を深めます。		
5	論理的にストーリーを展開しよう	・ストーリーの作成方法について理解を深めます。		
6	訴求力の高い資料を作成しよう	・訴求力の高い資料のポイントについて理解を深めます。		
7	訴求力の高い資料を作成しよう	・訴求力の高い資料のポイントについて理解を深めます。		
8	発表技術を磨こう	・発表美術について理解を深めます。		
9	発表技術を磨こう	・発表美術について理解を深めます。		
10	説得力のあるプレゼンテーションを実施しよう	・配布資料について理解を深めます。		
11	実践演習	・過去問題の演習と解説を行います。		
12	実践演習	・過去問題の演習と解説を行います。		
13	実践演習	・過去問題の演習と解説を行います。		
14	実践演習	・過去問題の演習と解説を行います。		
15	実践演習	・過去問題の演習と解説を行います。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
自信がつくプレゼンテーション 引きつけて離さないテクニック		出席点 取組 課題	33.0% 33.0% 34.0%	【事前学習】 このシラバスを読み、各回の内容に対応しているテキスト、配布資料の箇所を見ておくこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究		情報システム学科/3年	2023/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	160回	21単位(320時間)	必須	伊沢 剛
授業の概要				
システム開発手法を要求定義から行うことで、体系的に開発手法を経験を通して学ぶ。顧客を想定したプレゼンテーションの手法を学ぶ。グループによるソフトウェア開発。				
授業終了時の到達目標				
チーム開発を通して、システムの開発手法を身に付ける。プレゼンテーションの技法を身に付ける。グループ作業を通して、協調性やリーダーシップを身に付ける。				
実務経験有無		実務経験内容		
無し				
時間外に必要な学修				
次回の授業を踏まえて必要なドキュメントやファイルをまとめておく。				
回	テーマ	内容		
1~21	卒業制作について グループ分け	・内容説明とスケジュールの説明、グループ分け。		
22~42	開発テーマの選定	・開発するシステムのテーマを検討します。		
43~63	要件定義	・要件定義の工程を行います。		
64~84	要件定義	・要件定義の工程を行います。		
85~ 105	外部設計	・外部設計の工程を行います。		
106~ 126	外部設計	・外部設計の工程を行います。		
127~ 147	内部設計	・内部設計の工程を行います。		
148~ 168	内部設計	・内部設計の工程を行います。		
169~ 189	詳細設計	・詳細設計の工程を行います。		
190~ 210	プログラミング	・プログラミングの工程を行います。		
211~ 231	プログラミング	・プログラミングの工程を行います。		
232~ 252	プログラミング	・プログラミングの工程を行います。		
253~ 273	プログラミング	・プログラミングの工程を行います。		
274~ 294	プログラミング	・プログラミングの工程を行います。		
295~ 320	プレゼンテーション練習 卒業制作発表 提出資料の整理	・プレゼンテーション練習・発表・成果物の整理を行います。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
スッキリわかるサーブレット&JSP入門、Eclipseで学ぶはじめてのサーブレット&JSP、EclipseではじめるJavaフレームワーク入門—クラウド開発対応		取組 プレゼン評価	50.0% 50.0%	【事前学習】 人に使ってもらえるシステムという視点で、自分がどんなシステムを作りたいかを考えておいてください。